

福島の  
子供たちが  
映画を  
撮った

# 福島の今を知ろう



くぼたあやの  
◆講演: **久保田 彩乃**

ラジオパーソナリティー  
一般社団法人  
ヴォイス・オブ・フクシマ理事

福島県出身。

東京女子大学卒。

2009年から秋田放送にてラジオ番組の中継リポーターを担当。幼稚園児から100才まで老若男女問わずのインタビューや、秋田の風土・文化の魅力を言葉で伝えるレポートを経験し、「想像力を養う」「情報に加温する」というラジオメディアならではの特性に深く傾倒。2011年7月帰郷後は県内取材を重ね、福島県民の声を発信するラジオ番組「Voice of Fukushima」制作活動をスタート、放送回数は現在200回を超える。国内唯一、原発事故でできた富岡町臨時災害FMスタッフも兼務、小学生が町の魅力を言葉で伝える「こどもラジオ放送局プロジェクト」等進行。

◆司会◆

**隼坂しのぶ**

(古文科講師)

2017年3月11日に広野町の中学生がつくった映画を観ました。広野町は福島原発から20キロの位置にあり、震災後9月には避難区域から解除された町です。そんな広野町に住む子供たちが映画を撮った。町を愛する子供たちの夢が詰まった10分の映画は、忘れられない一本の映画となりました。5月に郡山で行われた公共政策のワークショップでは、震災後の福島の人たちの声を記録し続けるヴォイス・オブ・フクシマの久保田さんが「福島イコール原発ではありません。いろんな意見があるのが福島なんです」と訴えていました。メディアが伝えきれない、政治では解決できない、震災後の混乱が「福島の普通」なのです。

東京のわたしに何ができるのか？ 考えた結果、エンリッチ講座で子供たちの映画を上映し福島の今を福島に住む人に伝えてもらおうと決めました。映画制作をしたリテラシー・ラボ代表の千葉さん、福島でラジオパーソナリティを務める久保田さんの二人に登場していただきます。「福島の希望」に涙する時間を共に過ごしませんか。(隼坂しのぶ)



ちばいざや  
◆講演: **千葉 偉才也**

公共政策アドバイザー  
一般社団法人  
リテラシー・ラボ代表理事

神奈川県出身。

早稲田大学政治学研究所修了、放送大学教養学部卒。

通信制大学に所属しながら国内外の様々な活動に参画。在学中から国会議員秘書となり、政策担当秘書資格取得後は外務副大臣、防衛副大臣の政策秘書として外交安全保障分野を中心に従事。退職後、メディアリテラシー教育の研究のために大学院にて論文を執筆し、その後独立。メディアリテラシー教育の実践を行政とともに取り組むほか、教育を通じた地域創生などの公共政策分野で活動。



7月13日(木) 17:30~19:00

池袋校西校舎 3A教室



入場無料  
申込不要

〒171-0021 豊島区西池袋 1-3-12

☎ 0120-198-630

●JR-西武池袋線・東武東上線・東京メトロ丸ノ内線・有楽町線・副都心線池袋駅  
メトロポリタン口より徒歩1分

